

「ヒト血清中のグルコサミンの定量」へ御協力をお願い

～当院内科を受診され、中央採血室で採血される方へ～

福井大学医学部附属病院 検査部

福井県立大学・看護福祉学部

福井県立大学・生物資源学部

当院では福井県立大学人を対象とする研究等における人権擁護・倫理委員会の審査を受けて福井大学医学系部門長の許可を受け「ヒト血清中のグルコサミンの定量」を実施しております。

また本研究に関する資料の閲覧をご希望の場合も下記の連絡先にお問合せください。

【ヒト血清中のグルコサミンの定量】

研究の名称	「ヒト血清中のグルコサミンの定量」
研究代表者	福井県立大学・看護福祉学部 法木左近
福井大学における 研究責任者	福井大学医学部附属病院・検査部 遠山直志
研究期間	倫理審査委員会承認後～2026年3月31日
研究の目的	この研究では、人体内の特定物質であるグルコサミンの量を調査し、それが疾患とどのような関係があるかを探る目的で行われています。 グルコサミンは、私たちの身体の中で軟骨の一部を構成し、特に膝などの関節部分で細胞の更新に関与していると考えられています。しかし、これまでグルコサミンの量が健康な状態と病気の関係についてほとんど研究されていませんでした。 この研究では、福井県立大学で開発されたモリブドケイ酸を使った比色分析法を用いて、人体の血清中におけるグルコサミンの量を調べ、それが疾患とどのような関係があるかを調査します。

研究の方法	当院の内科において診療のため採血され、検査などで使用された後、残りの廃棄される血清を使わせていただきます。個人が特定できないように匿名化した上で、福井県立大学にて血清中のグルコサミンの定量を行います。
活用、共有・提供する試料・情報の項目	血清グルコサミンを測定した結果、異常値の出た検体について、その対象者の年齢、性別、疾患名、嗜好品、治療内容・治療薬、検査項目（生化学的検査：血糖）のうち、既知の情報を匿名化した状態で活用します。
活用、共有・提供する者の範囲	倫理委員会承認後～2025年10月30日の期間に、当院の内科を受診され、中央採血室で採血された患者さんの血清を検体として使わせていただきます。
試料・情報の二次利用について	試料・情報の提供の拒否がない方に限り、将来の医学研究のための貴重な資料として、本研究の研究期間以降も保管し利用させていただきます。
試料・情報の管理責任者	福井大学医学部附属病院・検査部 遠山直志
研究データ利用停止の申し出	対象者またはその代理人が要求した場合、対象者が識別されるサンプルや情報の利用、共有、提供を停止することができます。
利益相反について	福井大学においては、この研究にかかる利益相反はないことを福井大学臨床研究利益相反審査委員会に報告し、利益相反状態ではないと判定されています。
試料・情報の活用及び共有・提供を希望しない場合等の院内の連絡窓口	あなたの試料・情報が研究に活用されることについてご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申し出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者の皆様には不利益が生じることはありません。 福井大学・医学部附属病院・検査部 木村秀樹 電話：0776-61-3111(内線4629)
対象者又はその代理人からの相談等への対応	相談窓口 平日9:00～17:00 福井県立大学看護福祉学部社会福祉学科 教授・法木左近 電話：0776-68-8236 メール：snoriki@fpu.ac.jp

福井大学のご意見・ 苦情窓口（ご自身の 試料や情報を使用さ れたくない方はここ らまでご連絡下さ い）	〒910-1193 福井県吉田郡永平寺町松岡下合月23-3 福井大学医学部附属病院医学研究支援センター 電話：0776-61-8529 受付時間：平日8：30～17：15（年末年始、祝・祭日除く）
--	---

以上